

ほけんだより

東保育園 H29年度 8月号



毎日、暑い日が続いていますね。

気温も湿度も高い日本の夏は、皮膚トラブルも多くなりがちです。また、夏休みで自然豊かな野山へ出かけた際には虫に刺されたり、植物によるかぶれを起こしたりすることもあります。夏の皮膚トラブルに気をつけて、過ごしましょう。



あせも

【症状】頭、首、脇、肘の内側、背中、オムツや下着のゴムがあたる箇所の赤い湿疹。
【ケア】シャワーで汗を流す。お風呂の後は、保湿を行う。爪を切り、やすりをかける。
【受診】体の広範囲にできた時。かきむしってしまった時。2～3日以上続いている時。

とびひ

【症状】虫刺され跡や傷が、じゅくじゅくしている。水泡ができる。強いかゆみがある。
【ケア】ガーゼで覆う。シャワーで洗い流し、入浴は医師に確認する。爪を切り、やすりをかける。
【受診】じゅくじゅくや水疱をみつけたら。



ハチ

【症状】痛み。腫れ。ショック症状。
【ケア】
①刺された傷口を流水でよく洗い流す。ハチの針が残っている場合は、指でつまんでそっと抜く。
②傷口周辺を圧迫し、毒液をしぼり出す。
③抗ヒスタミン剤を含むステロイド軟膏などがあれば塗り、幹部を冷やして安静にする。
【受診】ショック症状があれば、すぐに救急車要請。

ヒアリ



【症状】激しい痛み。水泡状の腫れ。ショック。
【刺された直後の対処】
・30分程度、安静にし、症状が悪化しなければ、ゆっくりと病院を受診。
【症状が悪化する場合】
・一番近い病院を受診する（救急受け入れのある病院が望ましい）
・「アリに刺されたこと」「アナフィラキシーの可能性のあること」を伝え、すぐに治療してもらう。
東京都環境局HPより

クラゲ

【症状】痛み。腫れ。
【ケア】海水や酢と手袋又はタオルを使い、クラゲを取り除く。真水では洗わない。痛みや腫れがある箇所を冷やす。
【受診】応急手当後、すみやかに受診。



健診予定

18日：内科健診

保健からのおはなし

・からだの話（すぎ組）